学校だより きずな

【学校教育目標】　なりたい自分になる

熊野町立熊野第一小学校
令和８年１０月２３日
校長　梶　弘樹



人との関わりが子供を育てる

～仕事のプロとの関わり～



５年生は、総合的な学習の時間に、地域で働く人々との関わりを通して、自分自身の在り方や役割について探究しています。

１学期は、「みんなを笑顔にする５BEYOND～地域のプロに学ぶ～」と題し、「熊野筆」に関わる５人の仕事のプロから、仕事に対する思いや生き方について学びました。２学期に入り、この日は、ディアヴォロッソ広島の選手をゲストティーチャーに迎え、さらに学びを深めました。ディアヴォロッソ広島は、熊野町をホームタウンとする女子サッカーチームです。この活動を通して、子供たちからは、次のような感想が聞かれました。



「『サッカーとは、生活の一部であり、人生です』という言葉を聞いて、私もそう言えるものを探したいと思いました。」

「選手の皆さんは、人と人とのつながりを大切にしていたので、私も人とのつながりを、今や将来に生かしていこうと思いました。」

子供たちは、選手の皆さんがサッカーに取り組む姿勢から、自分が大切にしたいことを感じ取ったようです。そして、なりたい自分に向けて、これからの生活に学びを生かしていこうという気持ちを高めていました。

～子供同士の関わりの中で～

連休明けのある日、４年生の男の子が、「３連休にガチャを作った。」と言って、段ボールで作った箱を見せてくれました。ダイヤルを回すと、箱の中のカプセルが外に出てくる仕組みになっています。「へえ、すごいね。本格的だね。」と言うと、「くじ係じゃけえ。」と、少し誇らしそうに胸を張って答えてくれました。

しばらくすると、２年生と５年生の女の子が仲良くやってきました。「おはようございます。」と声を掛けると、５年生に続いて、２年生の子から「おはようございます！」と元気なあいさつが返ってきました。顔を見ると、にっこりと笑っています。１年生の頃は、なかなかあいさつの声が聞こえなかった子でしたが、一緒に登校してくる上学年の子に促されたり、励まされたりしながら、少しずつ声が出るようになってきました。この日は、そんな成長を感じる元気なあいさつでした。



子供たち一人一人が「こんな自分になりたい」という思いをもつこと。そして、周りの人とのよい関わりがあること。子供たちの成長のために大切にしたいと感じました。

ユニセフキャラバンキャンペーン出前授業

10月６日（火）に６年生を対象とした「ユニセフキャラバンキャンペーン出前授業」が行われました。

日本ユニセフ協会の方から、世界の子供たちが直面している課題や子供の権利、ユニセフの活動についてお話を聞きました。様々な環境にある子供たちの映像や水道が普及していないネパールの農村で子供たちが実際に使っている水汲み用の水がめを持ったり、マラリア予防のために使われる蚊帳の実物に入ったりする体験を交えての授業でした。

６年生の児童は、しっかりと話を聞き、これから目指す世界について考えることができました。





環境整備作業ありがとうございました

10月17日（土）には、PTA 環境整備作業が行われ約 200 名の児童と保護者、教職員で草抜きと側溝の泥上げを行いました。

もくもくと草を抜いたり、何度も重たい土を運んだり、グランドを平らにしたりして、きれいになった校庭。安心安全な環境でこれからも子供たちが楽しく過ごせそうです。

ありがとうございました。





学校へ行こう週間　11月2日(月)～6日(金)9:30～11:30

広島県では教育の充実と発展を図ることを目的に 11 月 1 日を「ひろしま教育の日」とし、11月1日から 7 日までを「ひろしま教育ウィーク」としています。

本校では今年も 11 月2日（月）・4 日(水)・5 日(木)・6日(金)の 4 日間を、保護者の方や地域の方に学校においでいただき、様子や取組を知っていただく「学校へ行こう週間」とします。

正面の職員玄関に受付を設置いたしますので、9:30～11:30 の間にお越しください。

また、大休憩（10:15～10:35）には CS 委員会の児童が一緒にできる活動を計画しています。

たくさんのご来校をお待ちしています。

